

中学生の「税についての作文」

大川三猪法人会 会長賞

税について

大川市立大川桐英中学校

三年 黒田 椿

私は税を社会の維持に不可欠な資金源だと考えています。私たちが日常的に利用する公共サービス、例えば道路や学校、医療施設などは、税金によって支えられています。税を支払うことは、自分たちの生活を豊かにし将来世代にも良い環境を残すための大切な責任であり、私たちには納税の義務があります。

また、税は社会的な格差の影響を小さくする役割も果たしています。もし社会格差が大きくなると、経済的な不平等が深刻化し、社会全体にさまざまな問題が生じます。例えば貧困層の増加により教育や医療へのアクセスが制限され、犯罪率が上昇する可能性があります。このような状況は経済の成長を阻害する原因となります。その対策として、所得税の累進課税制度は、高所得者ほど多くの税を負担することで、社会の平等を保つために寄与しています。他にも低所得者層への支援策として、社会保障や公教育、公共医療サービスへの予算を増やすことは社会格差を小さくするために必要だと思

います。これにより全ての人が平等な社会が実現できます。このように、税金は単なる支出ではなく、社会全体の利益のために必要です。

税に対する理解を深め、納税の重要性を認識することは、私たち一人ひとりが持つべきだと私は考えます。これからも私たちは社会全体の持続可能な発展のため、税の役割をしっかりと理解し、責任を持って納税していきましょう。

私たちの暮らしを支えるためには税金が必要だと理解しているが、もっと公平な仕組みがあればいいなとも感じる。税金を払うことで社会に貢献しているという意識を持ちながら、今後も適切な税制改革が行われるといいと思います。みんな協力して支払うお金だから、私たち一人一人が負担するより安心できるなとも思いました。税金を払うことで、みんなによりよい社会を作っていけるんだと感じました。税金は大切なことだと分かりました。

